

第1学年 生活科「あたらしい1ねんせいをむかえよう」



本單元における学習者用端末の活用

○手だて

「新しい1年生の喜ぶメダルを作ってプレゼントしたい」という児童の思いを実現するために

・メダルに書くメッセージを共有した。

→一人一人が自分の考えたメッセージをグーグルクラスルームに送り全員で共有することを通して、友達の考えも取り入れてよりよいメッセージを考える。→協働的な学び

・メダルに貼るアサガオの折り方の手順を教師が予め画像で作成し、児童のオクリンクのマイボードに送信する。児童はその画像資料を参考にしながらアサガオを作成する。→個別最適な学び

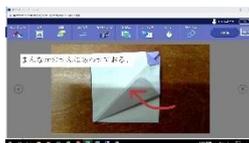
○使用したアプリやコンテンツ



児童一人一人のメッセージが表示される。



折り紙で折るアサガオの作り方が分かる連続動画



本時の展開

【ねらい:進んで1年生を迎える準備をしようとする】

	分	主な学習活動
導入	5	1 前時を想起し、めあての確認をする。
展開	35	<p>あたらしい1ねんせいのよろこぶメダルをつくらう</p> <p>2 メダルの作成の手順を確かめる。</p> <p>3 メッセージに書くことを考え、クラスルームに送って共有する。 →友達の考えも参考にし、よりよい内容に修正して、何度送ってもよいこととする。 →協働的な学び</p> <p>4 アサガオを折り紙で折る。→説明を聞いた後、マイボードを見ながら折る。 →個別最適な学び</p> <p>5 メダルに折り紙を貼り、メッセージを書く。</p>
まとめ	5	6 振り返りカードに自分の活動の振り返りをさせる。

成果と課題

- ・クラスルームのコメント欄は、即時性があり、書いているその場で友達の考えを見ることができる。すぐに思いつく児童、なかなか思いつかない児童共に、友達の多様な考えを参考に、よりよいメッセージを書くことに意欲的に取り組むことができ、対話的な学び、協働的な学びにつなげることができた。
- ・折り紙の折り方の手順を、オクリンクで教師から児童のマイボードに配信し、参考にさせることで、各児が自分のペースで折り進めることができ、「分かった」「できた」という思いを感じることができた。支援が必要な児童に対しては教師が重点的に指導したり、早く終わった児童が助けたりすることで、個別支援や交流も活発になり、全員が折り紙を完成させることができた。